

日本下垂体研究会 第 32 回学術集会

プログラム

2017 年 8 月 2 日(水)～ 8 月 4 日(水)

鬼怒川グランドホテル

〒321-2522 栃木県日光市鬼怒川温泉大原 1021

「日本下垂体研究会事務局」からのお願い

学会期間中に、日本下垂体研究会事務局の受付を設けます。
受付には会員名簿と会費納入状況の書類を準備いたします。この機会に、年会費の確認と支払、会員登録状況の確認、育英資金の支給などを受け付けます。特に、評議員の先生方には、ご自身の所属と会費納入状況の確認とともに、所属学生の移動の有無や会費納入状況の確認をお願い致します。

目次

会長挨拶	4
開催要領	5
プログラム概要	9
日程表	11
学術集会プログラム	12
要旨	
吉村賞授賞講演	23
特別講演	24
シンポジウム	25
最優秀発表賞候補者演題	38
一般演題	44
謝辞	68

ご挨拶

海外に会場を移した昨年の大会に続き、平成 29 年度の第 32 回日本下垂体研究会学術集会は、栃木県鬼怒川温泉にて 8 月 2 日(水)より 8 月 4 日(金)の日程で開催する運びとなりました。国内で新たなスタートとなる今大会では、これからの発展が期待される「新しい下垂体研究の胎動」を感じることでできる魅力的なプログラムとなりました。ご指導を賜りました皆様のお陰と感謝申し上げます。下垂体研究会は、動物種を問わず下垂体をキーワードとして、基礎、応用研究の専門家と臨床家が広く集います。これにより、日常の研究活動では起こり得ない知の化学反応が期待されます。さらには各方面からの視点をご披露いただき、下垂体研究を含めた学術のあり方を、広く考える良い機会になればと存じます。

合宿形式で膝を突き合わせ議論するこれまでの形を踏襲しつつ、若手の英語での議論の場を設けるなど育成面でも趣向を凝らしております。新たな研究の種を見つけ、伸ばすとともに、これまでの成果のプロモートの場になる事を期待しつつ、出来る限りお手伝いしたいと存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

第 32 回日本下垂体研究会学術集会

会長 輿水崇鏡

第 32 回 日本下垂体研究会学術集会 開催要領

1. 会期

- 平成 29 年8月2日(水) 幹事会、一般講演、特別シンポジウム、
若手特別プログラム、ファイルオンザデスク
- 平成 29 年8月3日(木) 一般講演、シンポジウム1、評議員会・総会、
特別講演、吉村賞講演、エクスカーション、
親睦会、ファイルオンザデスク
- 平成 29 年8月4日(金) 一般講演、シンポジウム2、最優秀賞受賞式

2. 会場

鬼怒川グランドホテル

〒321-2522 栃木県日光市鬼怒川温泉大原 1021

電話: 0288-77-1313 Fax: 0288-77-3344

3. 学術集會事務局

自治医科大学薬理学講座分子薬理学部門

電話: 0285-58-7326(研究室直通)

輿水崇鏡、土屋裕義

E-mail; molpharm@jichi.ac.jp(事務局、土屋、輿水)

4. 参加受付

大会当日は、8月2日12時より、会場入口にて受付を開始いたします。参加費、懇親会費は大会当日に受付で現金にてお願いいたします。その上で名札と要旨集をお受け取りください。2日目のお弁当とエクスカーションをご希望の方も、受付時にお支払ってください。

お荷物の置き場所を、会場内一番後ろのスペースをご用意いたします。各自でご利用ください。ご希望により、会場入口のクロークでもお荷物をお預かりします。お申し出ください。

5. 参加費

一般会員 5,000 円

学生会員 2,000 円

非会員 7,000 円

6. 懇親会費

一般会員 5,000 円

学生会員 3,000 円

非会員 5,000 円

鬼怒川温泉ホテルの宿泊者でなく、懇親会に参加を希望される場合
お食事とお飲物にて 10000 円

アレルギーなどでお食事のご希望がある場合には、前日までにホテルへご連絡ください。

7. 昼食

8月3日(水)の昼食は、希望によりお弁当(1000円)をご用意いたします。希望を事前にお問い合わせいたします。

8. 宿泊

相部屋5名まで 10000円／1泊2食付き／お一人様

2名1部屋でご利用の場合上記にお部屋代として10000円／1泊の追加

1名1部屋でご利用の場合上記にお部屋代として15000円／1泊の追加

すべて税込価格です。部屋割りは当日の受付時にお渡しいたします。チェックインは15時以降、鍵は各部屋で1つのみです。チェックアウトは10時までとなります。最終日の朝食前後に各自にてホテルフロントでお支払いをお願いいたします。ご不明な点は大会事務局または宿泊施設まで御願いたします。

9. 発表形式

演題は全て口頭発表です。吉村賞40分、特別講演、招待講演は60分、シンポジウムは質疑応答含めて30分です。一般講演の発表時間は9分、質疑応答は3分です。会場にはWindows 10を搭載したPCを一台、Macbook airを一台用意します。

Microsoft office PowerPoint 2016 で作動確認したファイルをご準備下さい。作成した PowerPoint ファイルを USB フラッシュメモリまたは CD-R に保存して、会場のファイル受付係までお持ちください。2 日の演題は 2 日の 13 時までに会場のファイル受付係までお持ちください。3 日および 4 日の演題については、2 日のファイルオンザデスク会場にてファイルを受け付け致します。この時間帯以外でも柔軟に対応致しますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

ご自身の PC を持ち込まれる場合は事前に下記メールアドレスまでお知らせ下さい (molpharm@jichi.ac.jp)。また RGB D-sub15 ピン接続に必要なアダプターはご持参ください。

10. ファイルオンザデスク

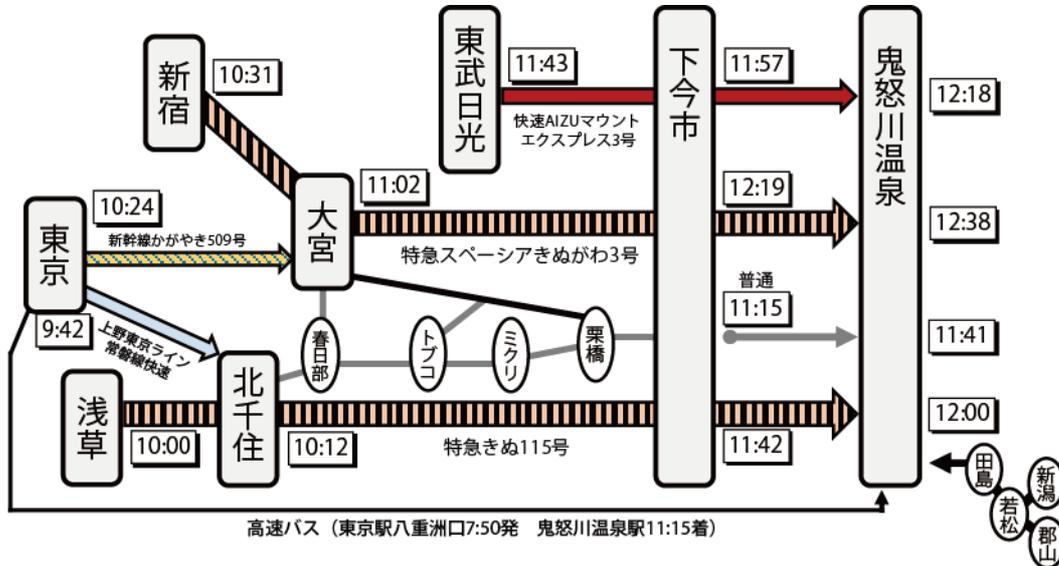
ファイルオンザデスクは学術会議を行った会議室にて行います。2 日の夕食後 (20:30-22:00)、および 3 日の懇親会后 (20:00-22:00) には、発表に使用したスライドの印刷版をご持参下さい。

11. 最優秀発表賞

最優秀発表賞に応募の演題は、最優秀発表賞審査要項に従って審査されます。審査員の評点をもって、最優秀発表賞受賞者を決定します。

12. 交通案内

8月2日(水)の開始時に間に合う出発時刻



※ 宇都宮駅から会場ホテル直通のバス「シルクエクスプレス」が運行されていますが、宇都宮駅13:00発で開会には間に合いません (要予約 500円)

※ 高速バス (東北急行バス 7/10 より)
空席がある場合に限り、当日でも予約無しでご乗車できます。

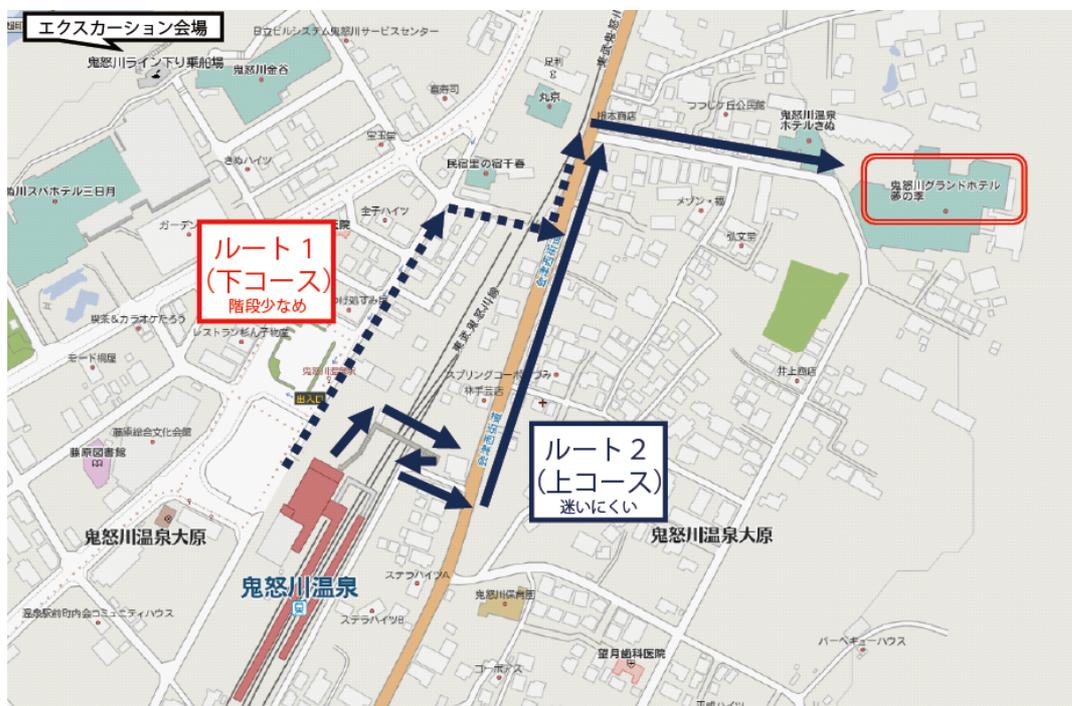
鬼怒川温泉駅からホテルへの移動

- ・ 鬼怒川温泉駅前⑤番バス乗り場から、鬼怒川グランドホテル夢の季を經由する日光交通ダイヤルバスが運行されています。
- ・ 浅草方面から鬼怒川温泉駅に到着する各駅停車・快速・特急の全ての電車の到着に接続する形で出発します。

(12:00~19:01到着分に接続)

- ・ 運賃は片道190円です。
- ・ 乗車の際には、行き先の旅館を運転士にお伝え下さい。

徒歩での鬼怒川温泉駅からホテルまでの移動 約 8 分



ルート1：鬼怒川温泉駅を出た後、右手方向に歩いていき、線路の下をくぐった後に石段を上り、会津西街道へ出て下さい。その後、北上（左折）すると「鬼怒川グランドホテル夢の季」の看板が見えるので、その通りを右折して坂を上って下さい。

ルート2：鬼怒川温泉駅を出た後、すぐそばの陸橋を渡って線路の反対側へ出て下さい。その後、会津西街道へ出て、北上（左折）すると「鬼怒川グランドホテル夢の季」の看板が見えるので、その通りを右折して坂を上って下さい。

第 32 回 日本下垂体研究会学術集会 特別講演、シンポジウム

吉村賞受賞講演

松田 恒平（富山大学）

座長；屋代 隆

特別講演

永井 良三（自治医科大学学長）

座長；菊地 元史

シンポジウム1

下垂体における神経堤細胞の定着は下垂体腫瘍の病因解明へと繋がるか

大隅 典子（東北大学）

井下 尚子、山田 正三（虎の門病院）

堀口 和彦、山田 正信（群馬大学）

座長；山田 正三、加藤 幸雄

シンポジウム2

視床下部-下垂体-性腺軸 研究の最前線

家田 菜穂子（名古屋大学）

寺島 涼太（北里大学）

岩佐 武（徳島大学）

折出 亜希（島根大学）

座長；金崎 春彦

特別シンポジウム

オキシトシン、バゾプレッシン作用の新たな知見 -基礎と応用-

尾仲 達史（自治医科大学）

槇田 紀子（東京大学）

中村 和昭（国立成育医療センター研究所）

座長；上田 陽一、輿水 崇鏡

特別プログラム

若手研究者の皆さん、下垂体研究を英語で話してみませんか
オーガナイザー、座長；塚田 岳大（東邦大学理学部）

演者； Khongorzul Batchuluun (Mongolian National University of Medical Science)
Nahoko Ieda (Nagoya University)

企画趣旨

本研究会に参加している若手研究者の中には、研究をしながら英語に不安を感じている方が少なくないと思います。例えば、国際学会での研究発表を控えている方、すでに国際学会を経験し、思うように英語が話せず悔しい思いをされた方、まだ英語がうまく話せないけど、将来、海外の大学や研究所で研究をしたい方など。サイエンス英語のスキルアップには、場数を踏むことが大事ですが、日本にいとあまりそのチャンスがありません。そこで、本企画では、皆さんに馴染みのある「下垂体」をトピックに、お二人の演者の方に英語でプレゼンテーションをしていただきます。もちろん、その後は皆さんで英語による質問タイムとなるわけですが、それが難しいから今まで英語に苦労しているはず。「自分はこういう英語を考えてきたけど、果たして通じるか？」、「日本語では質問がでてくるけど、英語でどのように伝えれば良いのか？」、今まで言いたくても言えなかったことを、勇気を持って言ってみませんか？このプログラムを通じて、英語へのハードルが少しでも下がるお手伝いができればと思います。若手企画ということもあり、「40歳未満」という年齢制限付きではございますが、皆さん奮ってご参加下さい。

会場：学術集会会場にて、特別シンポジウムの後に引き続き行います

* 若手研究者(40歳未満)に限る

第32回 日本下垂体研究会学術集会プログラム			
	2017年8月2日(水)	2017年8月3日(木)	2017年8月4日(金)
7:00		7:00 朝食	7:00 朝食・チェックアウト
8:00		8:15 一般演題3	8:15 一般演題4
9:00		9:15 休憩	9:30 休憩
10:00		9:30 シンポジウム1 招待演者 大隈典子先生 (東北大学) 「下垂体における神経堤細胞の定着は下垂体腫瘍の病因解明へと繋がるか」	9:40 シンポジウム2 「視床下部-下垂体-性腺軸 研究の最前線」
11:00	11:00 幹事会	11:30 評議委員会、総会	11:40 閉会式 受賞者発表
12:00	12:00 受付開始	12:00 昼食	12:00 閉会
13:00	13:00 開会	13:00 特別講演 永井良三 先生 (自治医科大学)	
	13:10 若手最優秀発表賞候補演題		
14:00	14:30 一般演題1	14:00 吉村賞講演、授与式 松田恒平 先生 (富山大学) 「ソマトラクチンとプロラクチンの分泌制御と生理機能に関する研究」	
15:00	15:20 休憩	15:00 エクスカーション (鬼怒川ライン下り) (雨天時 自由行動)	
16:00	15:30 特別シンポジウム 「オキシトシン、バゾプレッシン作用の新たな知見 -基礎と応用-」		
17:00	17:00 特別プログラム 「若手研究者の皆さん、下垂体研究を英語で話してみませんか」		
18:00	18:00 一般演題2	18:00 懇親会	
19:00	19:00 食事、入浴		
20:00		20:00 ファイルオンザデスク (発表資料を持ち寄り討論会)	
21:00	20:30 ファイルオンザデスク (発表資料を持ち寄り討論会)		
22:00			

第 32 回日本下垂体研究会学術集会 プログラム

8 月 2 日(水)

開会 13:00

若手最優秀発表賞候補演題 13:10～14:22

座長: 岩崎 泰正(高知大学)、堀口 幸太郎(杏林大学)

1. ゼブラフィッシュ OGR1, GPR4 の金属による応答解析

○武者 詩織¹、根岸 潤¹、永山 純礼¹、持丸 雄太¹、戸村 秀明^{1,2}

¹ 明治大学農学部生命科学科細胞情報制御学, ² 明治大学生殖内分泌研究所

2. ACTH 産生細胞株における GPHR の機能解析

○村上 奨¹、持丸 雄太¹、戸村 秀明^{1,2}

¹ 明治大学農学部生命科学科細胞情報制御学, ² 明治大学生殖内分泌研究所

3. マウス下垂体前葉に発現する SCGB3A2 は転写因子 C/EBP β と C/EBP δ によって転写促進される

○木下 昂宗¹、佐藤 鈴奈²、阿部 宏之¹、黒谷 玲子¹

¹ 山形大学大学院理工学研究科バイオ化学工学専攻、² 山形大学工学部バイオ化学工学科

4. マウス下垂体由来の TtT/GF 細胞における TGF β の作用: SILAC 解析法を用いたタンパク質の網羅的な比較定量解析

○磯和 幸延¹、塚田 岳大²、吉田 彩舟^{1,3}、舎人 勢奈²、紀藤 圭治^{3,4}、堀口 幸太郎⁵、藤原 研⁶、屋代 隆⁶、加藤 たか子^{1,3}、加藤 幸雄^{3,4}

¹ 明治大・研究知財、² 東邦大・理、³ 明治大・生殖内分泌研、⁴ 明治大・農、⁵ 杏林大・保健、⁶ 自治医大・医・解剖

5. メダカの鰓におけるバソトシン V2a 受容体と AQP3 の機能連関の可能性

○稲垣 祐香、中町 智哉、松田 恒平、今野 紀文

富山大学・大学院理工学研究部・生体制御学講座

6. ヒト妊娠免疫モデルとしての妊娠ヒト化マウス作製

○大野 裕介¹、小島 美香¹、木南 理仁¹、和泉 俊一郎²、藤 亮治³、伊藤 守³、亀谷 美恵¹

¹東海大学医学部基礎医学系分子生命科学、²東海大学医学部専門診療学系産婦人科学、³公益財団法人実験動物中央研究所

一般演題1

14:25～15:25

座長：戸村 秀明(明治大学)、中村和昭(国立成育医療研究センター)

1. 下垂体 ACTH 産生細胞における α チューブリンアセチル化修飾の役割

○中倉 敬¹、鈴木 健史²、萩原 治夫¹

¹帝京大・医・解剖、²札医大・医育・生物

2 アカエイの副腎皮質刺激ホルモン放出ホルモン受容体遺伝子の同定

○佐藤 生¹、笠木 聡¹、水澤 寛太¹、坂本 竜哉²、高橋 明義¹

¹北里大学海洋生命科学部、²岡山大学理学部 牛窓臨海実験所

3 ブラインドケーブカラシンの脳内における α -MSH と MCH の分布, および光が脳内 MCH と黒色素胞数に与える影響

○阿見彌 典子、井上 裕太、天野 勝文

北里大学海洋生命科学部

4 OGR1 の金属応答性は生物種間で異なる

○持丸 雄太¹、戸村 秀明^{1, 2}

¹明治大学農学部生命科学科、²明治大学生殖内分泌研究所

5 成長ホルモン経口投与がニジマス免疫系に及ぼす影響

○矢田 崇¹、森山 俊介²

¹水研機構、²北里大学

休憩 10min (15:25～15:35)

特別シンポジウム 15:35～17:00

「オキシトシン、バソプレッシン作用の新たな知見 -基礎と応用-」

座長: 上田 陽一(産業医大)、奥水 崇鏡(自治医大)

1. 社会的刺激によるオキシトシンニューロンの活性化とその働き

○尾仲達史、高柳友紀、吉田匡秀、犬束歩、岡部祥太、Naranbat Nasanbuyan
自治医科大学医学部 生理学講座 神経脳生理学部門

2 V2 受容体と腎性尿崩症: 変異解析と新しい治療の可能性

○槇田紀子、飯利太郎

東京大学医学部・聖マリアンナ医科大学

3 バソプレッシン V1 受容体欠損マウスからのバソプレッシン作用へのアプローチ

○中村和昭

国立成育医療研究センター研究所

特別プログラム-Special Program- 17:00～18:00

「若手研究者の皆さん、下垂体研究を英語で話してみませんか」

‘Dear Young Researchers: Let’s Talk Pituitary Research in English’

座長: 塚田 岳大(東邦大学) Organizer: Takehiro Tsukada (Toho University,
Department of Biomolecular Science)

1 Stem/progenitor cells and Cell adhesion protein in the pituitary gland

○Khongorzul Batchuluun

国立モンゴル医科大学・自治医科大学 (Mongolian National University of Medical
Science、Jichi Medical University)

2. Ultra-short loop positive feedback between kisspeptin and GnRH neurons to
enhance LH release in female rats

○家田菜穂子 (Nahoko Ieda)

名古屋大学大学院生命農学研究科 (Graduate School of Bioagricultural Sciences,
Nagoya University)

一般演題2 18:00～18:50

座長: 須賀 英隆(名古屋大学)、亀谷 美恵(東海大学)

1. 食虫目スルクス下垂体前葉におけるホルモン産生細胞の局在及び精巣摘除による LH 産生細胞の形態学的変化の研究

○坂井田 初季¹、相澤 清香²、坂田 一郎¹、坂井 貴文¹

¹埼玉大・院理工、²岡山大・院自然科学

2. ゼブラフィッシュ下垂体中葉におけるソマトラクチン産生細胞の局在およびソマトラクチン免疫陽性反応と mRNA 発現に及ぼす背景色の影響

○南 和希¹、中町 智哉¹、今野 紀文¹、松田 恒平^{1,2}

¹富山大・院理工・生体制御、²富山大・院生命融合・生体情報

3. NOG-IL-4-Tg マウスを用いたヒト組織移植の検討

○宮本 あすか^{1,3}、片野 いくみ²、伊藤 亮治²、津田 万里³、徳田 裕³、
垣生 園子⁴、伊藤守²、亀谷 美恵¹

¹東海大学医学部基礎医学系分子生命科学、²公益財団法人実験動物中央研究所、

³東海大学医学部外科学系乳腺内分泌外科、⁴順天堂大学医学部免疫学

4. 胎児発育不全(FGR)および胎児異常(non FGR)の胎盤組織における TrkB アイソフォーム発現の比較解析

○灰田 祐子¹、近藤 朱音^{2,3}、中奥 大地²、山崎 幹雄²、森根 幹生²、檜尾 健二²、前田 和寿²、高橋 千果³、和泉 俊一郎³、亀谷 美恵¹

¹東海大学医学部基礎医学系分子生命科学、²四国こどもとおとなの医療センター、

³東海大学医学部専門診療学系産婦人科

食事・入浴 19:00～20:30

ファイルオンザデスク 20:30～22:00

8月3日(木)

朝食 7:00~8:15

一般演題3 8:15~9:15

座長:近藤 朱音(東海大学)、藤原 研(自治医大)

1. 妊娠成立によるマウス母体 H-P-A 軸のストレス応答性低下について

○森山 隆太郎、吉川 万莉乃、木村 祐輔、高野 恭男、向井久保 崇裕、松本 彬伸、日比野 良祐

近畿大生命科学

2. コモンマーモセットの血漿中妊娠関連タンパク質の同定

○柏木 寛史^{1,2}、亀谷 美恵¹、大野 裕介¹、石本 人士²、和泉 俊一郎²

¹東海大学医学部基礎医学系分子生命科学、²東海大学医学部専門診療学系産婦人科学

3. ラット下垂体前葉の内分泌細胞が反応するラミニンに関する研究

○東 森生¹、菊地 元史^{1,2}、屋代 隆¹

¹自治医科大学医学部解剖学講座(組織学部門)、²自治医科大学医学部総合教育部門

4. 下垂体分化における視床下部隣接の意義

○須賀 英隆¹、笠井 貴敏²、有馬 寛³

¹名古屋大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科、²公立陶生病院 内分泌・代謝内科、³名古屋大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学

5. 下垂体前葉の S100 β 陽性細胞が発現する CD 抗原の解析

○堀口 幸太郎^{1,2}、吉田 彩舟³、藤原 研⁴、塚田 岳大⁵、加藤 たか子²、長谷川 瑠美¹、瀧上 周¹、大迫 俊二¹、屋代 隆⁴、加藤 幸雄^{2,3}

¹杏林大・保健、²明治大・内分泌研、³明治大・院・農、⁴自治医大・医・解剖(組織)、

⁵東邦大・理

6. 下垂体前葉から単離した SOX2 陽性細胞塊の性質解析

○吉田 彩舟^{1,2,6}、百合野 秀朗³、小林 正明⁴、田村 祐介⁴、菅野 鉦⁴、
矢野 健太郎^{4,5}、橋本 真一³、加藤 たか子^{1,2}、加藤 幸雄^{1,4,5}

¹明大・生殖内分泌研、²明大・研究知財、³金沢大・医薬保健学総合研究科、⁴明大・農、

⁵明大院・農、⁶学振研究員

休憩 15 min (9:15～9:30)

シンポジウム 1 9:30～11:30

「下垂体における神経堤細胞の定着は下垂体腫瘍の病因解明へと繋がるか」

座長; 山田 正三(虎の門病院)、加藤 幸雄(明治大学)

1. 下垂体腫瘍のエクソーム解析による遺伝子異常の全貌

○堀口和彦、山田正信

群馬大学大学院医学研究科内分泌代謝内科学

2. 下垂体腺腫におけるホルモン分泌と転写因子

○井下尚子、山田正三

虎の門病院病理診断科、間脳下垂体外科

シンポジウム 1・招待講演

「神経堤細胞: Good guy or bad guy?」

大隅典子

東北大学大学院医学系研究科

評議委員会・総会 11:30～12:00

昼食 11:30～13:00

特別講演 13:00～14:00
「細胞・臓器連関による心血管系の負荷応答機構」
永井良三
自治医科大学
座長:菊地 元史 (自治医科大学)

吉村賞授賞講演・授賞式 14:00～15:00
「キングヨにおけるソマトラクチンの分泌制御と生理機能に関する研究」
松田恒平
富山大学
座長:屋代 隆 (自治医科大学)

エクスカーション 15:00～18:00
懇親会 18:00～20:00
ファイルオンザデスク 20:00～22:00

8月4日(金)

一般演題4 8:15～9:27
座長:安部 由美子(群馬大学)、森山 隆太郎(近畿大学)

1. クッシング症候群術前のグルココルチコイド受容体アンタゴニスト投与による術後の下垂体-副腎系への影響

○安田 敦、関 敏郎、北島 夏見、深川 雅史
東海大学腎内分泌代謝内科

2. Possible Role of Neurotensin and CRH in the Feedback Regulation by Estradiol: A Study Using Hypothalamic ARC and AVPV Cell Models

○Tuvshintugs Tumurbaatar, Haruhiko Kanasaki, Aki Oride, Tomomi Hara, Hiroe Okada, Satoru Kyo

Department of obstetrics and gynecology, Shimane university faculty of medicine

3. 各種ヒト下垂体腺腫組織に観察されるM2マクロファージの形態的特徴に関する研究

○矢田部 恵¹、藤原 研¹、屋代 隆¹、山田 正三²、永井 良三³

¹自治医科大学解剖学講座(組織学部門)、²虎の門病院間脳下垂体外科、³自治医科大学

4. ラット下垂体前葉細胞に対するBMP-6の作用

○藤原 研、Fujianti Casmad、屋代 隆

自治医科大学医学部解剖学講座(組織学部門)

5. ラトケ嚢胞に関連した下垂体機能不全の一例

○近藤 朱音^{1,2}、中奥 大地¹、村上 雅博¹、山崎 幹雄¹、森根 幹生¹、
檜尾 健二¹、高橋千果²、和泉 俊一郎²、前田 和寿¹

¹四国こどもとおとなの医療センター 産婦人科、²東海大学医学部専門診療学系 産婦人科

6. 泌乳期ウシにおけるニューロキニンB受容体作動薬が黄体形成ホルモンのパルス状分泌に及ぼす影響

○中村 翔¹、若林 嘉浩¹、山村 崇¹、大蔵 聡²、松山 秀一¹

¹農研機構畜産研究部門、²名古屋大学大学院生命農学研究科

7. マウス視床下部神経細胞の突起形成へのプロスタグランジンD2の作用

○土屋 裕義¹、北條 寛典²、杉本 幸彦²、Ngamlertwong Nuttawadee¹、
藤原 葉子¹、輿水 崇鏡¹

¹自治医大・医・分子薬理、²熊大・院薬・生化

休憩 10 min (9:30~9:40)

シンポジウム2

9:40~11:40

「視床下部-下垂体-性腺軸 研究の最前線」

座長: 金崎 春彦(島根大学)

1. キスペプチンによる視床下部-下垂体-性線軸制御機構

○家田菜穂子

名古屋大学大学院生命農学研究科

2. 性腺刺激ホルモン放出ホルモン(GnRH)の細胞増殖調節作用に関わる新規細胞内因子

○寺島涼太

北里大学

3. ストレスによる生殖機能低下における Gonadotropin inhibitory hormone (GnIH)の病態的意義

○岩佐武

徳島大学大学院医歯薬学研究部産科婦人科学分野

4. モデル細胞を用いた視床下部及び下垂体系における生殖内分泌研究

○折出亜希、金崎春彦、トゥムルバタル トウシントウクス、原友美、京哲

島根大学医学部産科婦人科

閉会式、最優秀発表者授賞式

11:40～12:00

閉会 12:00